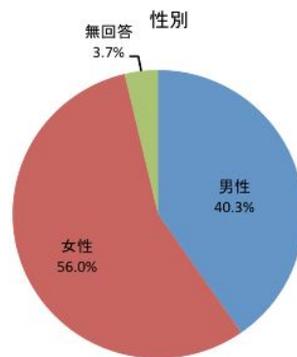


十和田市のまちづくりに関するアンケート結果（全数）

実施	平成22年8月
実施方法	住民基本台帳より無作為抽出 郵送による発送、回収
発送数	1,000
サンプル数	377
回収率	37.7%

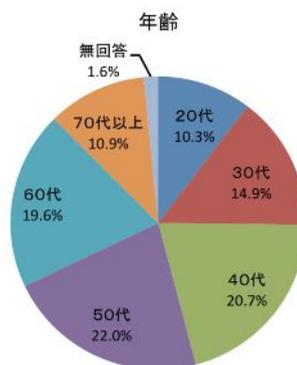
Q1 あなたの性別、年齢、十和田市民になってからの年数について該当する番号に○印をして下さい。

回答者の性別は女性がやや多く、「女性」211人（56.0%）、「男性」152人（40.3%）となった。



◆ 年齢

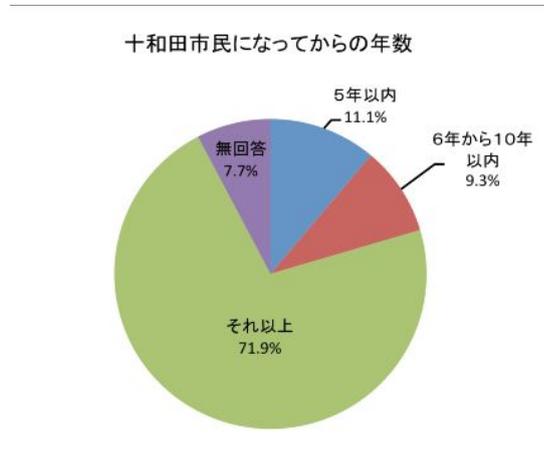
回答者の年齢は、「40代」「50代」「60代」がそれぞれ20%前後と多かった。最多は「50代」83人（22.0%）、以下、「40代」78人（20.7%）、「60代」74人（19.6%）、「30代」56人（14.9%）、「70代」41人（10.9%）、「20代」39人（10.3%）であった。



◆ 市民としての年数（居住年数）

回答者の市民としての年数（居住年数）は、「10年以上」が70%強を占めた。

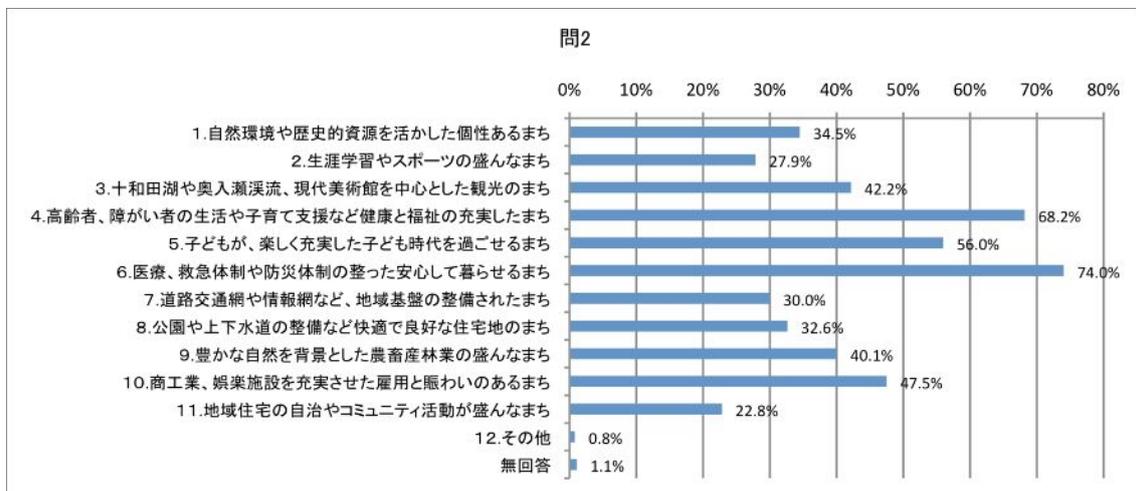
最多が「10年以上」271人（71.9%）、以下、「5年以内」42人（11.1%）、「6年から10年以内」35人（9.3%）であった。



Q2 十和田市を将来どのようなまちにしたいと思いますか？

将来のまちの姿の希望は、「医療・安心」が3/4と最多で、「健康・福祉」7割弱、「楽しい子ども時代のまち」6割弱、「雇用と賑い」5割弱、「観光のまち」と「盛んな農畜産林業」の4割などが続いた。

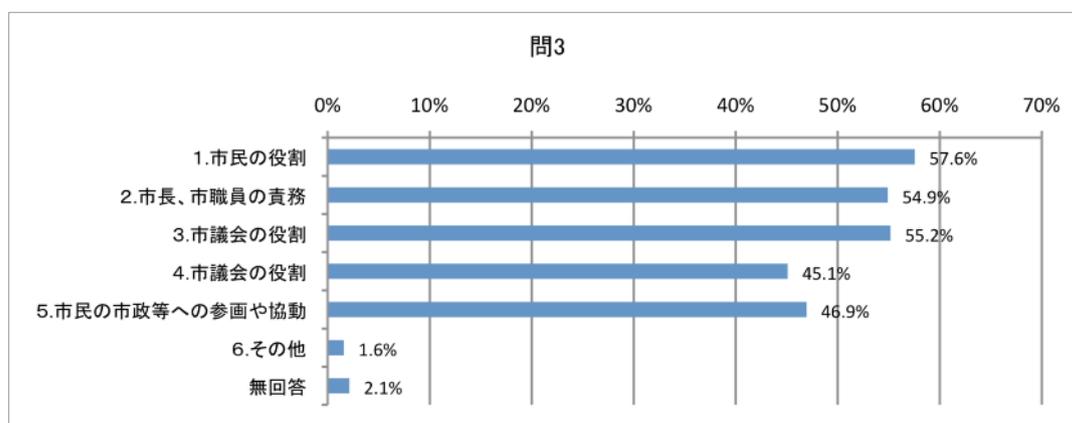
最多は「医療、救急体制や防災体制の整った安心して暮らせるまち」279人（74.0%）、以下、「高齢者、障がい者の生活や子育て支援など健康と福祉の充実したまち」257人（68.2%）、「子どもが、楽しく充実した子ども時代を過ごせるまち」211人（56.0%）、「商工業、娯楽施設を充実させた雇用と賑わいのあるまち」179人（47.5%）、「十和田湖や奥入瀬溪流、現代美術館を中心とした観光のまち」159人（42.2%）、「豊かな自然を背景とした農畜産林業の盛んなまち」151人（40.1%）、「自然環境や歴史的資源を活かした個性あるまち」130人（34.5%）、「公園や上下水道の整備など快適で良好な住宅地のまち」123人（32.6%）、「道路交通網や情報網など、地域基盤の整備されたまち」113人（30.0%）、「生涯学習やスポーツの盛んなまち」105人（27.9%）、「地域住宅の自治やコミュニティ活動が盛んなまち」86人（22.8%）、「その他」3人（0.8%）となった。



Q3 十和田市のまちづくりを考えるうえで大切だと思うことは何ですか？

「まちづくりに大切なこと」の回答は各項目に分かれ、大きな差がなかった。「市民の役割」「市議会の役割[市政の監視とチェック、市民の意思の尊重と反映、市民への情報交公開など]」「市長、市職員の責務」の3項目がそれぞれ6割弱～5割強で並んだ。次いで「市民の市政等への参画や協働」と「市議会の役割[市民との情報共有、市独自の考えの保持、行政・財政情報の公開など]」の2項目が5割弱～4割強であった。

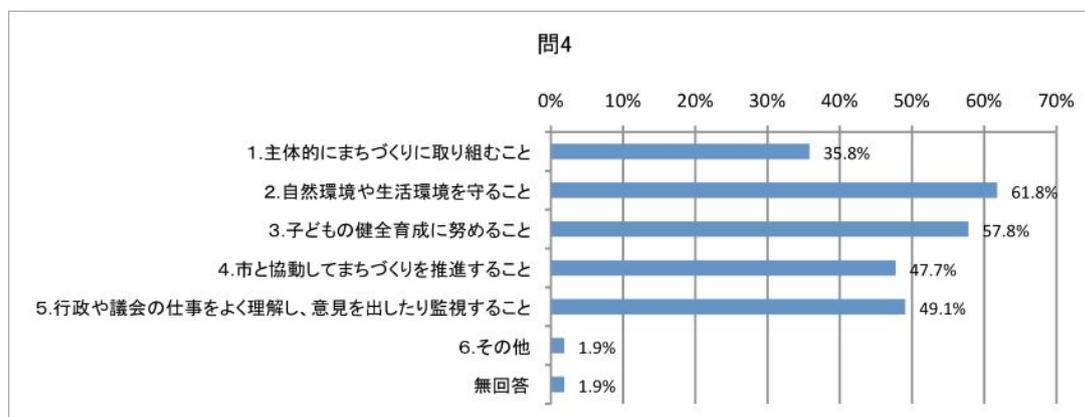
最多は「市民の役割[主体的な取組、自然環境や生活環境の保護、子どもの健全育成]」217人(57.6%)、以下、「市議会の役割[市政の監視とチェック、市民の意思の尊重と反映、市民への情報交公開など]」208人(55.2%)、「市長、市職員の責務[憲法や法律の順守、奉仕者の自覚、公正な職務の励行]」207人(54.9%)、「市民の市政等への参画や協働[市長や職員との対話、審議会や委員会の委員の公募など]」177人(46.9%)、「市議会の役割[市民との情報共有、市独自の考えの保持、行政・財政情報の公開など]」170人(45.1%)、「その他」6人(1.6%)であった。



Q4 市民の役割として大切だと思うことはなんですか？

市民の役割として、「環境を守る」と「子どもの健全育成」が6割前後で双璧、「行政・議会の理解、意見や監視」と「市との協働」も半数近かった。

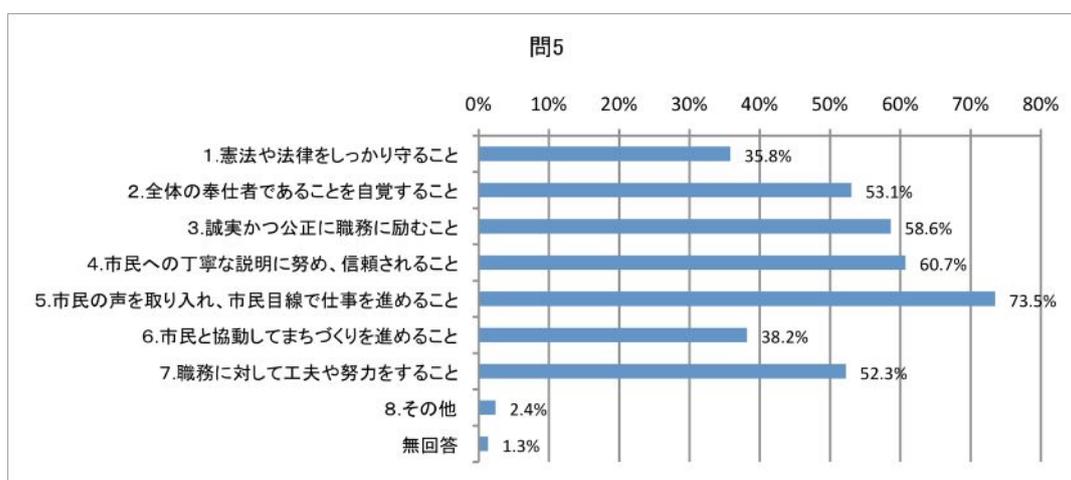
最多は「自然環境や生活環境を守ること」233人(61.8%)、以下、「子どもの健全育成に努めること」218人(57.8%)、「行政や議会の仕事をよく理解し、意見を出したり監視すること」185人(49.1%)、「市と協働してまちづくりを推進すること」180人(47.7%)、「主体的にまちづくりに取り組むこと」135人(35.8%)、「その他」7人(1.9%)であった。



Q5 市長、市職員の責務として大切だと思うことは何ですか？

市長、市職員の責務としては、「市民の声、市民目線」が3/4を占め、「説明・信頼」と「誠実公正」が6割、「全体の奉仕者の自覚」と「職務の工夫や努力」も5割を超えた。

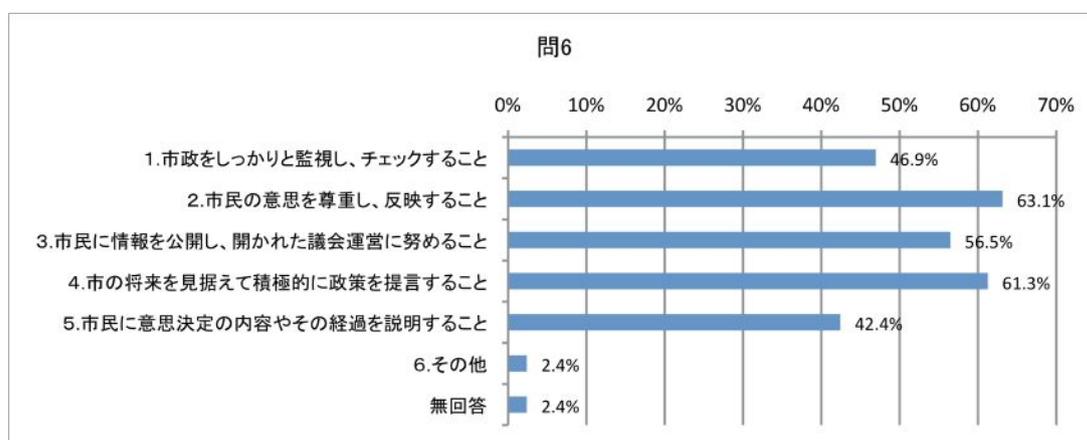
最多は「市民の声を取り入れ、市民目線で仕事を進めること」277人(73.5%)、以下、「市民への丁寧な説明に努め、信頼されること」229人(60.7%)、「誠実かつ公正に職務に励むこと」221人(58.6%)、「全体の奉仕者であることを自覚すること」200人(53.1%)、「職務に対して工夫や努力をすること」197人(52.3%)、「市民と協働してまちづくりを進めること」144人(38.2%)、「憲法や法律をしっかりと守ること」135人(35.8%)、「その他」9人(2.4%)であった。



Q6 市議会の役割として大切だと思うことは何ですか？

市議会の役割では、「市民意見の尊重・反映」「政策提言」「情報公開・開かれた運営」の3項目が6割前後と多く、「市政監視・チェック」が半数弱、「市民への説明」が4割強であった。

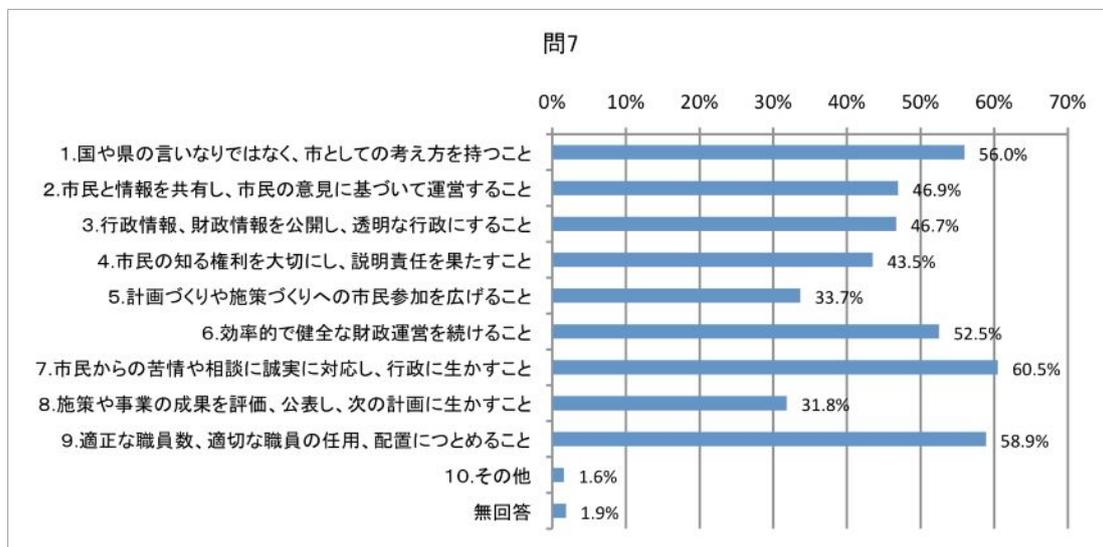
最多は「市民の意見を尊重し、反映すること」238人(63.1%)、以下、「市の将来を見据えて積極的に政策を提言すること」231人(61.3%)、「市民に情報を公開し、開かれた議会運営に努めること」213人(56.5%)、「市政をしっかりと監視し、チェックすること」177人(46.9%)、「市民に意思決定の内容やその経過を説明すること」160人(42.4%)、「その他」9人(2.4%)であった。



Q7 市政運営の原則として重要だと思うことは何ですか？

市政運営の原則としては、「苦情・相談への誠実対応」「適正な職員数・任用・配置」「市としての考え方を持つ」の3項目が6割前後と多く、「健全な財政運営」が半数強、「市民との情報共有」と「情報公開・透明行政」が半数弱、「知る権利・説明責任」が4割強であった。

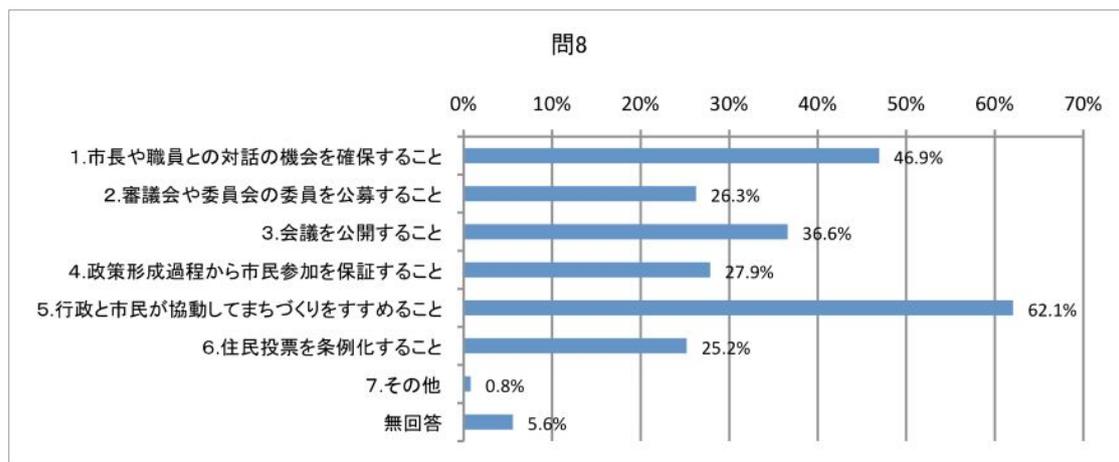
最多は「市民からの苦情や相談に誠実に対応し、行政に生かすこと」228人(60.5%)、以下、「適正な職員数、適切な職員の任用、配置につとめること」222人(58.9%)、「国や県の言いなりではなく、市としての考え方を持つこと」211人(56.0%)、「効率的で健全な財政運営を続けること」198人(52.5%)、「市民と情報を共有し、市民の意見に基づいて運営すること」177人(46.9%)、「行政情報、財政情報を公開し、透明な行政にすること」176人(46.7%)、「市民の知る権利を大切にし、説明責任を果たすこと」164人(43.5%)、「計画づくりや施策づくりへの市民参加を広げること」127人(33.7%)、「施策や事業の成果を評価、公表し、次の計画に生かすこと」120人(31.8%)、「その他」6人(1.6%)であった。



Q8 これからのまちづくりのために市民はどのように参加していくことが重要だと思いますか？

市民参加の仕方としては、「行政と市民の協働」が6割強と多く、「職員との対話機会の確保」が半数弱であった。

最多は「行政と市民が協働してまちづくりをすすめること」234人(62.1%)、以下、「市長が職員との対話の機会を確保すること」177人(46.9%)、「会議を公開すること」138人(36.6%)、「政策形成過程から市民参加を保障すること」105人(27.9%)、「審議会や委員会の委員を公募すること」99人(26.3%)、「住民投票を条例化すること」95人(25.2%)、「その他」3人(0.8%)となった。



市民アンケート自由記入欄集計

****担い手責任分類****

項 目	内 容	件数
1)市民の役割と参加	・利権の絡まない市議会議員、市長の選択	1
	・自覚のない市民もいる。自分が良ければという考えを改める。	1
	・隣近所とのコミュニケーションが希薄	1
	・自分にできる何かがあればやっていきたい	1
2)市長、職員の責務	・市民の意見を取り入れる仕組みを	13
	・職員の対応が悪い。職員の意識改革。市民への奉仕者である事の自覚を。	12
	・情報の公開。施策の決定の前に市民への情報公開を。ガラス張りの行政を。	6
	・市民と同じ目線で行政を	5
	・中央病院の改革。医師、職員の待遇改善	5
	・無駄なものは作らない。経費の削減を。借金を減らす。財政の見直し。	4
	・公務員の給与、ボーナスの削減	4
	・市民と協働して今後の課題に取り組む	2
	・優先順位の基準を公表し、優先順位を決めて予算を組む。	1
	・責任を持って将来的な施策を	1
	・大字単位で市政の報告会、対話の機会を	1
	・税金は大切に。	1
	・よりお金がかからない仕組み作りや工夫を	1
	・副市長の役割が何なのかよくわからない	1
	・市長のリーダーシップのもとで、今後のまちづくりの情報発信と市民との協働	1
	・市民がボランティア活動に参加できる体制づくりを	1
	・職員の削減	1
	・市民生活が苦しいことを行政は念頭に入れて実行を	1
	・若者を元気にする行政を	1
	・十和田市の自然の素晴らしさを理解し、自ら楽しみ、まちづくりに取り組む	1
・市の施設の職員を増やす	1	
・子育て支援の充実	1	
3)市議会の役割	・議員定数の削減	5
	・議員報酬の削減	5
	・議員の若返り(多選禁止)	2
	・議員のレベルアップを。公僕の意識が足りない。	3
	・市民の生の声を聞く議員があってほしい	2
	・無報酬議員(ボランティア議員)の募集	1
4)その他	・イベントなど市民が自由に掲載、閲覧できるサイトの開設	1
	・市民の意見ばかりでなく、職員から見た市民に対する意見にも耳を傾ける	1
	・北里大学、三農を大切に	1
	・十和田市のまちづくりで欠けているものを見極めること	1
	・十和田市出身者で県外居住者の意見を取り入れる。	1
	・大胆な発想の転換が必要	1
	・幸せに暮らせる日本一美しいまちをつくる	1
	・観光地開発を実現して	1

市民アンケート自由記入欄集計

****その他分類****

項 目	内 容	件数
その他	・生活保護給付に対する厳格な対応。	3
	・住民投票の条例化は反対	1
	・旧十和田湖町はトカゲのしっぽ切りのように思われる	1
	・十和田の生活に満足している	1
	・官庁街通り周辺の風景は素晴らしい。	1
	・まちおこしや美術など、楽しく暮らしていける環境ができてきた	1
	・現代美術館は評価されるべき。市の行事にも参加していきたい。	1
	・中心商店街の活性化はナンセンス	1
	・人が優しい	1

※自由記入欄には154人の市民からご意見をいただき、①まちの未来像(アウトカム型)分類、②担い手責任(インプット型)分類、③その他の大きく3つに分けて集計しました。

さらに、①まちの未来像(アウトカム型)分類は、アンケート問2の選択肢項目で、②担い手責任(インプット型)分類は、アンケート問3の選択肢項目でそれぞれ集計しました。

合計で232件となっていますが、1人の記述が複数に及ぶものも多数ありますので、項目ごとに振り分けております。

市民アンケート自由記入欄集計

****まちの未来像分類****

項 目	内 容	件数
1) 個性のあるまち	・何か一つに特化したものを中心としたまちづくりを。例えば現代美術	1
2) 学習・スポーツのまち	・スポーツ施設の充実。(冬期間に利用できる施設)	3
	・図書館の充実	1
3) 観光のまち	・観光資源のアピール不足	4
	・十和田湖、奥入瀬気流などの観光地を生かしたまちづくり	2
4) 健康・福祉のまち	・福祉の充実。障害児の支援の充実	8
	・老人が快適に暮らせるまちづくり	2
	・介護保険料が高い、安く	2
	・子どもの医療費の無料化	1
5) 子どもにやさしいまち	・子どもや若い人が元気に遊べる場、イベントを	4
	・(片親であっても)安心して子育てができるまち	3
	・子どもが健全に育つ十和田市に	2
6) 医療・安心のまち	・中央病院の医師不足を解消。医療体制の充実。	7
	・子どもが産みやすい様な環境や制度を。子育て支援を充実。	5
	・安心安全な町をみんなで作る	1
7) 地域基盤の整備されたまち	・交通機関の充実(冬期間、2次交通、市内循環バス)	9
	・駐車場が足りない。駐車場の整備を	6
8) 快適で良好な住宅地のまち	・自然環境や公園整備に力を入れて	4
	・住みやすい十和田市に。日本一素晴らしい街に	3
	・生活道路の整備を。除雪を丁寧に	1
	・下水道の整備を	1
9) 農林畜産業の盛んなまち	・長所である農業を盛んに。休耕田、畑の有効活用	3
	・農産物の加工商品化	1
10) 雇用と賑わいのあるまち	・雇用の充実	12
	・中心街商店街の活性化。(中心街に老人向けマンションを)	12
	・美術館周辺に飲食、物販施設を	4
	・娯楽施設の充実を	3
	・駅周辺の活性化。駅ビルの活用を。	3
	・もっと町の開発が必要。活気のある町に	3
	・企業誘致を積極的に	2
11) 住民自治やコミュニティ活動が盛んなまち	・十和田は街全体で何かやろうとする気持ちが強い。	1
	・子どもや若者が交流できる施設やイベントを設け、地域コミュニティを図る	1
12) その他	・市民を第1に考えたまちづくりを。市民の生活を豊かにするまちづくり	5
	・中高生の考えを発表できる場を	2
	・手を広げすぎないこと	1
	・市の文化祭は市民がより楽しめる文化祭に	1
	・10年後、20年後を見据えたまちづくり	1
	・可能性豊かに市民が一生住み続けられるまち	1